

1 策定の目的

平成28年度から始まった第5次豊明市総合計画(以下、総合計画。)が令和2年度末で中間点を迎えたため、現状の効果検証に基づき必要な点を見直し、めざすまちの姿の実現に向けて令和3年度以降の後期基本計画として策定しました。

本書は、まちづくり指標の進捗状況や社会情勢の変化等を踏まえて行った中間見直しの内容が記載されています。見直した結果を反映した計画が、第5次豊明市総合計画(改訂版)となります。

2 市長あいさつ

3 見直しの概要

(1) 全体の共通的な見直し

- 元号の修正(平成→令和)
- 固有名詞の修正(例：藤田保健衛生大学病院→藤田医科大学病院)

(2) 理念ごとの計画(総合計画P.32~)の見直し

② SDGs (P3参照)

③ まちづくり指標 (P4参照)

■ 理念ごとの計画 ③ 健康や健康福祉

めざすまちの姿

11. 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている

■ 現状と課題

生活習慣の改善や医学の進歩によってがんなどの感染症が減少し、日本は世界でも有数の長寿国となりました。一方で、食生活の変化や生活環境の急激な変化が原因でがん、高血圧などの生活習慣病の増加により医療費は増大し、急速に進む高齢化社会において大きな社会課題となっています。

本市における3大死に原因は、がん、心疾患、脳血管疾患です。また、メタボリックシンドローム該当者及び予備者は29.6%(平成23年度)から29.8%(令和元年度)と改善されていない状況です。本市では、市民が適切な生活習慣、食習慣の改善とともに運動習慣を身につけることができるように「第2次ふたば健康21計画(平成26~35年度)」に基づき、楽しみながら健康の増進につながるような運動の普及促進に取り組んでいます。

また、運動習慣の増進や、ライフスタイルの多様化に伴うスポーツ離れ、スポーツ指導者の高齢化など、市民が運動できる環境についての課題があります。誰もが運動に親しみることができるよう、ハード面だけでなくきっかけ作りや指導者の育成などの環境を整える必要がありそうです。

■ まちづくり指標

めざすまちの姿の達成状況を確認するための指標です。

項目	基本値	現状値	2020年目標値	2025年目標値
1. スポーツをするために運動習慣が身についた市民の割合	30.0%	30.0%	44.0%	58.7%
2. スポーツを楽しむことができる人(1人)と暮らす世帯の割合	24.2%	31.3%	35.6%	46.4%
3. スポーツを楽しむことができる市民の割合	57.1%	56.8%	47.2%	58.9%
4. 医療機関にかかっている市民の割合	15.2%	14.5%	21.8%	26.2%

※毎年、1回指標を測定し、めざすまちの姿の達成状況を確認し、事業の進捗につなげていきます。

■ 役割期待値

5段階評価のアンケート調査をもとに設定した。めざすまちの姿を実現するために、市民が期待しているまちづくりの姿に期待する割合を示す。

期待する割合	割合
期待する割合	13%
期待する割合	19%
期待する割合	14%
期待する割合	10%
期待する割合	11%
期待する割合	15%
期待する割合	17%

「めざすまちの姿」を実現するために、市民が期待しているまちづくりの姿に期待する割合を示す。

■ 市が取り組むこと

【大施策】 誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる

【中施策】

- 誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる
- 市民の体質や基礎体力を整えるための活動を支援する
- 一層に運動を楽しむ仲間を増やし、リーダーを育成する

めざすまちの姿を実現するために、今後取り組むべき施策を整理しています。

■ 市民ができること

- 公園や友達同士でスポーツする機会に誘い合うことができます。
- 市民対抗のスポーツ大会やイベント、地域での運動会などを企画し、運営することができます。
- 多休たり、自転車利用を増やすことができます。
- 自分の得意なスポーツを教え、スポーツの輪を広げることができます。
- 地域に根付いたスポーツを考え、実践することができます。
- 企業や団体などと協力し、連携を図り、スポーツ活動の場や仲間づくりの機会を増やすことができます。

スポーツセンター(コンプレックス)での活動の様子

① 現状と課題 (P3参照)

④ 市民ができること (P5参照)

①現状と課題

策定時から一定期間が経過し、社会情勢、生活環境の変化に伴い、市を取り巻く「現状と課題」の時点修正を実施しました。

また、実施事業についての記載も、策定時以降、新たな課題に対応して重点的に取り組んでいる事業等を追記するなど時点修正を行いました。

②SDGs

SDGsとは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。(外務省HPより抜粋)

豊明市では、多様な主体がそれぞれの分野で役割を担い、総合計画に掲げる40のめざすまちの姿の実現を目指しています。

SDGsの17の目標は、「貧困をなくそう」から「パートナーシップで目標を達成しよう」まであり、総合計画の目標である40のめざすまちの姿と同じ方向性であることから、SDGsで掲げられた17の目標と40のめざすまちの姿の関係性を整理し、アイコンを明示しました。



③まちづくり指標

■ まちづくり指標におけるめざそう値の修正について

まちづくり指標の現状値は、毎年、市民アンケートにより把握しています。めざそう値に対する進捗状況を確認し、以下のとおり見直しを行いました。

- 現状値がめざそう値を達成していないものは、原則、下方修正を行わず、引き続き、めざそう値の達成に向けて事業を進めていきます。
- 令和元年度の現状値が令和7年度のめざそう値を超えている指標及び法制度や算出方法等の変更があった指標について、以下の①から③の方法でめざそう値の修正を行いました。
- 現状値が令和7年度のめざそう値を達成しているが、施策の影響を受けないものについては修正していません。

①現状値が順調に伸びている指標(R1数値×改善伸び率)

令和元年度の数値に、策定時に設定した令和2年度から令和7年度のめざそう値の改善伸び率を掛けた数値に上方修正しました。

②現状値が年度によりばらつきがみられる指標(現状値の平均値×改善伸び率)

平成28年度から令和元年度までの数値の平均値に、策定時に設定した令和2年度から令和7年度のめざそう値の改善伸び率を掛けた数値に修正しました。

③現状値の趨勢の原因が明確であるなどの指標

原因等を考慮して事業担当課が設定する数値に修正しました。

総合計画策定の際に設定しためざそう値については、平成26年度の基準値が、どのくらいの値になっていたら良いと思うかアンケート調査を実施し、各主体が望む数値の平均値となっています。

■ まちづくり指標自体の見直しについて

策定時、民間調査の結果から引用した2つの指標について、調査が終了したことにより現状値が取れなくなったことから、まちづくり指標自体を変更しました。

4 策定経過

(1) スケジュール

年 月	審議会・議会・市民参加	庁内体制	
令和2年度	4月		まちづくりアンケートの実施・集計(毎年)
	5月		まちづくり指標の現状分析
	6月		
	7月		
	8月	第1回総合計画審議会(諮問)	経営戦略会議
	9月		めざそう値の見直し検討 現状と課題の時点修正
	10月	市民ワークショップ 市民ができることの検討 地域の未来像とその実現に向けた検討	
	11月		
	12月	第2回総合計画審議会(答申)	経営戦略会議
	1月	パブリックコメント	
	2月	市の全員協議会にて報告	
	3月		

(2) 審議会委員名簿

あいち尾東農業協同組合	青木 規久範	
学校法人桜花学園	小川 雄二	会長
学校法人藤田学園	石原 慎	
市民公募	松本 信之	
市民交流センター運営委員会	市原 慶和	
独立行政法人都市再生機構 中部支社	坂本 雄	
豊明市教育委員会	長山 加代子	
豊明市区長連合会	神谷 隆	
豊明市自主防災組織連合会	家田 志志	
豊明市商工会	松本 昇	副会長
豊明市女性の会	森 久子	
豊明市中心身障害者(児)福祉団体	松村 富一	
豊明市農業委員会	加藤 延保(五味 範俊)	
名古屋鉄道 株式会社	鈴木 武	

()は前任者

④市民ができること

めざすまちの姿の実現に向けて、主にまちづくり指標の達成度合いが低く、役割期待値として市民の割合が高いめざすまちの姿を対象に、市民ワークショップを開催し意見交換を行いました。

策定時から変化があったことや、新たに追加した方が良いことなどについて意見出しをしていただき、修正を行いました。

(3) 地域別計画(総合計画P.129~)

地域別計画の構成は、①中学校区の概要、②自慢できること、好きなおとこ、③地域の変化、④未来を実現するために地域ができることの4部構成になっています。

市民ワークショップを開催し、④未来を実現するために地域ができることについて、策定時から変化があったことや、新たに追加した方が良いことなどについて意見出しをしていただき、修正を行いました。

(4) 資料編(総合計画P.147~)

- ・「現状と課題」の修正に合わせた用語説明の追加
- ・見直しに伴うまちづくり指標一覧の修正





(3) 諮問書

(4) 答申書

豊企第91号
令和2年8月19日

豊明市総合計画審議会
会長様

豊明市長 小浮正典

第5次豊明市総合計画の中間見直しについて(諮問)

豊明市総合計画条例第5条に基づき、第5次豊明市総合計画の中間見直しについて、貴審議会の意見を求めます。

(5) 市民ワークショップ

市民公募に基づく14名の方に集まっていただき、中学校区別に分かれて意見交換を行いました。豊明市の未来像(めざすまちの姿(目標))やその実現のためにどんなことが必要なのかなどについて、市民の皆様と一緒に考え、下記①②の内容について策定時から変化があったことや、新たに追加した方が良いことなど市へ提案していただきました。

開催日：令和2年10月17日(土)

内 容：①めざすまちの姿実現に向けた、市民ができることについて
②地域別計画に記載の未来を実現するために地域ができることについて



(6) パブリックコメント(予定)

総合計画審議会から答申された第5次豊明市総合計画(改訂版)原案について、広く市民の意見を聴くためにパブリックコメントを実施しました。

期間：令和3年1月8日～2月8日

第5次豊明市総合計画(改訂版)
令和2年度策定

編集発行 豊明市行政経営部企画政策課
作成支援 株式会社 創建

〒470-1195 愛知県豊明市新田町子持松1番地1
TEL.0562-92-1111(代表)